

若い世代の希望に
応える婚活支援策を！



富永 悦子
議員

問 全国的に平均初婚年齢や未婚率が年々上昇している。縁結びの仲介役を任命するなど、市も積極的に婚活を応援できないか。

政策推進部長 公益財団法人とちぎ未来づくり財団の結婚サポーター事業に本市からも11名が登録されており、縁結びの仲介役となる役割を行っている。聞いています。仲介役となる方がより活動しやすい環境をつくるために、市として何ができるのか他市の事例等を参考に研究していきたい。



◆健康マイレージの取り組み

問 健康マイレージ制度は健康寿命を延ばす対策として有効であり、地域コミュニケーションや地域経済の活性化にもつながる。平成27年度予算に計上されたスマートウエルネス事業の中でどのように取り組むのか。

福祉部長 ウエルネスとは、一人ひとりが健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができることであり、これからはこの構想を中核に位置づけ、健康で幸せなまちづくりを目指していく。健康マイレージの実施についても、スマートウエルネス事業の中で検討を進めていきたい。

オール足利の
考え方を問う！



小林 貴浩
議員

問 狭い町の中で敵味方に分かれて争うのではなく、今こそ「オール足利」態勢で市民が一致協力できるように、市長の指導力を発揮すべきと考えるが所見を聞きたい。

市長 市長就任時に「このまちをよくするために、オール足利の態勢づくりをお願いしたい」と所信表明したが、今でもその考えは全くぶれていない。市民、議会、各種団体や企業など、皆様の力を結集した結果、人口動態において23年ぶりに転入者が転出者を上回るなど、まちの魅力が増している確かなあかしが見られた。引き続き、オール足利の態勢によって、元気で輝きのあるまちづくりをするために、市長としてのリーダーシップを発揮していきたい。

◆市長の選挙公約の進捗状況

問 市長が公約で掲げた経済・産業・観光輝きプランの中にJR足利駅と東武足利市駅の一体化があるが、現在の進捗状況を聞きたい。

市長 公約には短期的に取り組むもの、中長期的に取り組むもの、ある意味で夢を求めるものや挑戦を掲げたものなど、さまざまな分野に及んでいる。両駅の一体化はいろいろな方と議論する際に、いつも出てくる大きなテーマであり、引き続き市民と十分に意見交換しながら、検討していきたい。



▲JR足利駅と東武足利市駅

効果的なプレミアム付
商品券の発行を！



平塚 茂
議員

問 地域住民生活等緊急支援のための交付金を受けて、プレミアム付商品券の発行を予定している。市民が平等に購入でき、広く利用できるような十分な検討を願うが、どのように考えているのか。

市長・産業観光部長 商品券発行のため、商工会議所を初めとする実行委員会を発足させた。商品券のプレミアム率は20%とし、販売総額は約9億円で検討を進めている。販売時期や利用期間、販売場所については市民に不公平感が生じないよう検討していきたい。



◆空き家対策

問 市内に空き家が増加し、防犯・防災の問題、周辺環境の悪化が心配される。持ち主のわからない空き家への対応はどのように行っていくのか。

都市建設部長 空き家といえども個人の財産であり、ただちに市が解体等の対応をすることはできない。最終的には行政代執行も検討する必要があるが、相当な時間と経費を要することになる。まずは市として何ができるのかあらゆる手法を検討し、個々の案件に対応していきたい。

市長の政治姿勢を問う！



横山 育男 議員

問 平成27年度は市長任期の折り返しの年である。市長は謙虚、慎重ゆえ、やってきたことが見えにくいところがあった。新年度へ向けた考え方や新たな施策等を聞きたい。

市長 市長として3年目を迎えるが「まちをもっと元気にしたい」という気持ちは一寸もぶれていない。平成27年度は、映像のまち構想のさらなる推進や新産業団地の整備のほか、スマートウエルネス事業、Jクレジット事業、児童生徒相談員の配置、日本遺産認定に向けた取り組みなどを進めていきたい。

◆映像のまち構想

問 同構想の一環として誘致した映画「パンクバーの朝日」の撮影では、本市の経済や観光など多方面に効果があった。構想実現への市長の熱い思いを改めて聞きたい。

市長 大リーグで活躍しているイチロー選手の言葉に「小さなことを積み重ねる。それがとんでもない所へ行く、ただ一つの道だ。」とある。映像のまち構想を推進するには、この言葉のように撮影を通じて、市民の力を借りながら、映像関係者との信頼関係を一つひとつしっかりと深めていくことが大切だと考える。今後も一歩一歩着実に構想の実現に向けて取り組んでいきたい。



▲パンクバーの朝日のまちなかオープンセット

高齢者配食サービスの実施を！



大島 綾 議員

問 高齢化が急速に進み、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯はますます増加する。安定した食生活の確保と安否確認のため、高齢者配食サービスを実施すべきではないか。

福祉部長 本市では、家事を援助する高齢者暮らしのお手伝い事業や乳酸菌飲料を配達する愛のひと声事業を実施し、高齢者の安定した食生活の援助や安否確認を行っている。配食サービス事業については、平成29年度から展開される総合事業のメニューの一つになっており、これまで実施してきた各種事業内容を考慮し、他市の実施状況を調査研究しながら、検討していきたい。



▲愛のひと声運動の様子

◆文化財保護

問 国には指定文化財とは別に登録文化財の制度があるが、現在、登録文化財については修繕等の補助制度がない。歴史と文化の薫りあふれる町並みの景観を保つため、補助制度を創設すべきではないか。

教育次長 指定文化財は補助金等の手厚い保護を受けられるかわりに、厳格な規制がある。これに対し、登録文化財（建造物）は外観のみが規制対象とされ、内部は店舗・事務室・ホール等にも活用できる。その活用によって、保存のための維持費や修理費の一部を得ることが可能となるため、補助は設けていない。

東京オリンピックに向けた外国人の観光誘客を！



黒川 貴男 議員

問 オリンピックが開催される2020年には、約二千万人の外国人観光客が見込まれている。観光客を足利に誘客する仕掛けや取り組みをどのように考えているのか。

市長 外国人旅行者へのおもてなしを充実させるため、外国語版観光パンフレットの作成や、案内できる人材の育成などを行っている。今後、日本留学アワーズを受賞した足利工業大学との連携による諸外国への情報発信や、観光協会へ外国語対応スタッフを常駐させるなど、積極的に誘客や受入体制の構築を行っていきたい。

◆国道293号の整備

問 現在、この国道は公設市場前交差点の国道50号までとなっている。本市の将来の発展には、国道293号延伸と整備は重要な課題と考えるが、今後の考え方を聞きたい。

市長 国道293号の延伸については、本市の南北方向の道路軸の強化を図るとともに、地域の都市間交流を活発にするためにも重要であると認識している。現在、利根川新橋建設促進期成同盟会の中で、利根川に架ける新橋とともに、本市の国道50号から熊谷市の国道17号までを結ぶ幹線を整備することについて、さまざまな議論を重ねている。今後も、あらゆる機会を捉え、関係機関に対し、積極的に要望していきたい。

